

IgA血管炎 (紫斑病) について



IgA血管炎は、
体の免疫反応がきっかけとなり、
細い血管に一時的な炎症が起こる
病気です。風邪などの感染症のあとに
発症することが多く、
人にうつる病気ではありません。

足やお尻に紫色の発疹ができる病気です

主な症状

1 紫斑(しはん)

足やお尻、ひざの裏などに
赤紫色の発疹ができます



2 関節の症状

足や膝、足首、腕の関節に
痛みや腫れが出ることがあります



3 腹痛

おなかが痛くなることがあります。
吐き気や下痢を伴うこともあります



4 腎炎(じんえん)

血尿やたんばく尿が出ることが
あります(尿の検査で確認します)



治療について

- 特別な治療薬はないので関節痛には鎮痛剤、
腹痛にはスロイドで症状を和らげる
対症療法となります
- 風邪、扁桃炎、虫歯、中耳炎、副鼻腔炎の感染症を
治療すると悪化予防につながる場合があります
- 腎炎を早期に発見する為に
定期的な尿検査による経過観察が必要です

定期的な検尿の目安

最初の1か月は **週1回**、その後は **月1回** を
半年間 続けます。

登園の目安・おうちでの過ごし方

- 運動によって紫斑が増えることはありますが、
痛みがない限りは**通常の生活でOK**です。



受診の目安

次のようなときは、早めに受診してください。

- ✓ 強いお腹の痛みや
繰り返す嘔吐がある



- ✓ 発疹が広がってきた、
関節痛がある



- ✓ 血尿(おしっこが赤っぽい・
茶色っぽい)になる



- ✓ むくみ(顔やまぶた、
足がむくむ)がある



ほとんどの場合、数週間で自然に良くなりますが、
腎臓に影響が出ることもあるため、**定期的な受診が大切です。**



やまさき小児科



気になることがあれば、
いつでもご相談ください。



ご不明な点がありましたら、いつでもご相談ください。❤